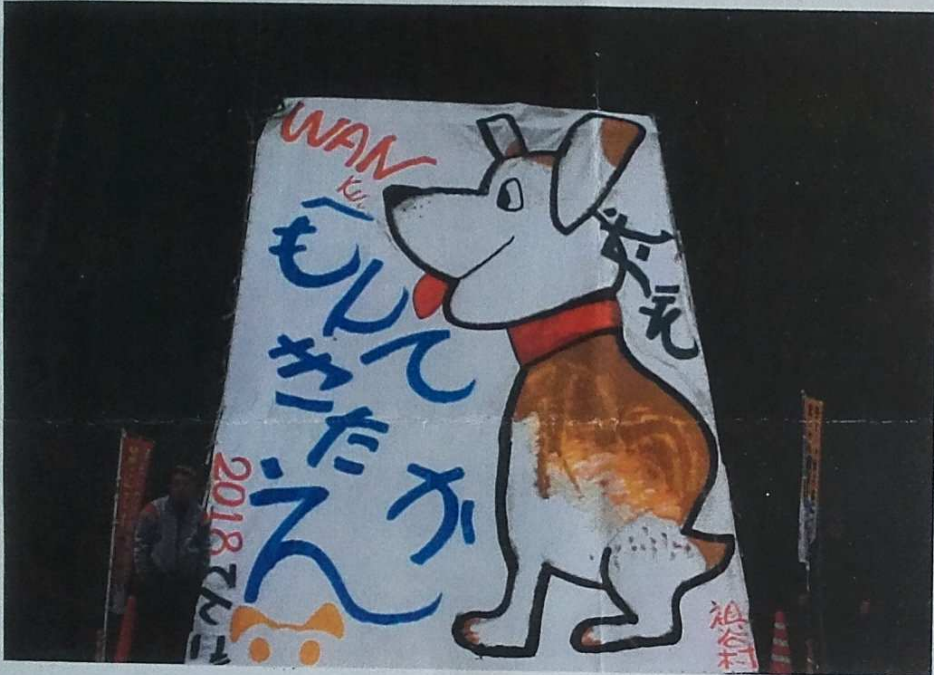


てんご新聞

'18. I No.247
 発行 市岡日出夫
 責任 0883-88-5292

あけまして おめでとう ございます

穏やかな二十八年のはじまりです。
 十二月に何回も降った雪も、高い山々以外
 では、ほほ見えなくなりました。雪もはく静かな
 新年を迎えました。
 ありがとうございます。
 今年も「こんご新聞」をよろしくお願いま
 す。あと数回で4月には「250号」に達
 つますことが見えてきました。
 よくも続けていけると言われる事があり
 ますが、特別なことでは無いのです。
 まあ、読んで頂ける人がいることが励み
 になつているとおもいます。
 可能なならば、その先の300号までは……
 ひと考えをこまますが、一先気が暮らさな
 ければいけないので、何とも言えな
 いです。自分自身も十分注意して、
 ぜひその日を迎えたいのです。



そして、今年の誓ひは、笑月号でも
 お知ろせしました。祖谷分校に団
 書室をオープン出来ることと
 こと、順調に洋書出来ることと
 なりそうと
 ととかく、本がいろいろある教室は、特
 くも有り、なんかほっとする気分にな
 れるのです。そこが音楽を聞き、フ
 ーが飲め、誰かが来て下さる
 話が出来れば、いい日か過ぎそう
 だ。お楽しみです。
 今年の大目玉

とら月々々



他者と比べることなく、自分を見つめて
 一歩一歩と、ゆっくり歩きたいのです。
 それには、コーヒーと音楽それに本があ
 りたいのです。
 なるべく欲を捨てる、ことが出来れば、多
 分、「よかつた」が多く見つかるとは、お
 ともいいます。
 こんご事を「始め」に感じたいのです。
 退屈もいもんどしよう。
 雨や雪もいやなめと感じても、その中
 樂とみ一つづつ見つけよう。そうでも
 なるとおも、ひりくります。
 そうして、一日一日、一月、二月と重ねてい
 くの胸にか一年がすぎたというこ
 ころと、いいなあ。
 それにして、世の中、急ぎすぎやありま
 せんか。何かをやつて、いと世の中から
 疎外してしまいたい……。
 小教になることもいいわな、か、と

「この二」の事が、
 今年の目標が
 その他には、時
 別になく、毎
 日々月々と生
 出来れば一番
 です。
 その為には、小
 な幸せを積み
 重ねていくこ
 とを心がけたい
 のです。
 その日の「よかつた」
 が、しこくをく
 けば、笑顔も多
 くなるという
 ものです。